

そよかぜ通信

第308号

発行
2026年3月

社会福祉法人 調布市社会福祉事業団
調布市知的障害者援護施設そよかぜ 施設通信
〒182-0032 調布市西町290-4
TEL 042-481-7663
FAX 042-481-7074
URL <http://jigyodan-chofu.com/soyokaze/>
ホームページではカラーで掲載しております。是非ご覧下さい。



春が来て、今年度もあと少しです！



梅の花が咲き始めて
お花見ウォーキングです。



豆にみたてストラックアウト、外
に出て衣装をためしてみたり。鬼の
かざりつけに励まされてもうすぐ春
の予感です。



お花屋さんを
みつけました！



実習生が来ています!



保育士になるため
頑張っている実習生。

ピアノにみんなびっくり、
音楽は大盛り上がりでした!

2月14日は、おいしい日♪

HAPPY
Valentine's
DAY



日頃がんばっている自分へのご褒美スイーツ♡
好きなケーキを選んでのバス喫茶です!



そよかぜとはこんなところ



そよかぜは、知的に障がいのある18才以上の方が自宅やグループホームから平日の日中に通所し、午前には織物、陶芸等の作業、午後は運動や学習、クラブ活動などの各種の活動をして、地域で地域の社会資源を使いながら生活を送る為の通所施設です。

職員リレーコラム♪明日は明日の風が吹く?!

「この春、そしてこれから」



この前の選挙で、はじめて子どもの選挙の投票券が来ました。もう18歳なんだ・・・とあらためて実感させられました。雪の日、本人なりに考えて?投票所に一緒に足を運んだ日に、長靴の足跡を残していくうしろ姿を見ながら、これまでの彼の生き方とその道のりを考えて寒さに震えながら拳を握りしめました。

18歳、もう一人前に思われる歳になったのかもしれませんが、彼と手をつなぎ、そして色々なことを考える日々はまだまだ終わらないのでしょうか、親としてできることは何か、自問自答しています。彼がもっと歳をとったとき、そのころにはわたしたちはもっと年老いているでしょう。その時に本人やその仲間たちが生き生きしていられるようにすることが私たちのいま、やっていくべきことなのでしょう。



彼の好きなことの一つに、鉄道趣味があります。本人の世界を覗かせてもらっていると、時代を超えて力強く走る汽車のように頑張っていこうとする彼、そしてレールが過去、現在、そして未来へと続いていくかを見定めるシグナルの役目を私はしているのかもと感じます。これからの出発に、意気込みという汽笛を鳴らして走り始めた彼を、見守っていききたいと思う春です。